

社協だより

第12回
グラウンド・ゴルフ大会の様子
詳しくは4ページ



- P2..... 市社協事業報告
- P3..... 市社協決算報告、社協会費のお礼、事務局通信
- P4..... ひまわりクラブだより、子育てサロン交流・活動体験フェスタ開催のお知らせ
- P5..... 共同募金会上野原市支会だより、たすけあいボラポ第2回新規登録研修会参加者募集、生活支援体制整備事業
- P6..... 生活困窮者自立支援事業所【いっぽ】からのお知らせ、障害者基幹相談支援センターだより
- P7..... 善意の寄付をありがとう、善意銀行事業報告、夏のフードドライブ実施報告
- P8..... 民児協との連携による見守り活動、うえのはら結婚サポートセンター登録者募集中、日常生活自立支援事業、社協バス廃止のお知らせ



令和6年度 上野原市社会福祉協議会 事業報告

市社協では、地域に密着した組織として「ささえ ささえられ うえのはらで いきる」を基本理念として、3つの基本目標と10の施策の方向性に基づき事業を行いました。令和6年度は、上野原市より生活困窮者就労準備支援事業、生活困窮者家計改善支援事業の2事業を新規に受託し、困難かつ継続的な支援が必要なケースにも対応できるような支援体制を整え、高齢者、障害者、生活困窮者等、様々な人が持つ生活課題に対応できる総合相談窓口としての機能強化を図りました。また、山梨県より生活困窮者物価高騰対策緊急支援事業を受託し、住民税非課税世帯に対する灯油助成券の交付を行うなど、物価高騰による経済的な困窮や社会的孤立といった住民の福祉ニーズを的確に把握し、社会福祉協議会としての役割を柔軟に発揮することができました。

知る

①福祉の大切さを知ることができる

- ⇒福祉作品コンクール応募総数 : 2,297点
- ⇒社会福祉大会表彰者数 : 59名、13団体

②暮らしや福祉活動に必要な情報を知ることができる

- ⇒社協だよりの発行(年4回) : 8,600部
- ⇒市社協Facebook、Instagram、公式LINEの活用



▲2025年福祉作品カレンダー ▲社協だより2024年8月号

つどう

①ボランティア活動に参加することができる

- ⇒ボランティア登録数(団体、個人) : 25団体、40名
- ⇒たすけあいボランティアポイント登録者数 : 34名

②地域のつどいに参加することができる

- ⇒サロン活動助成金交付団体数 : 50団体
- ⇒ひまわりクラブ会員数 : 1,562名

③地域の福祉活動に参加することができる

- ⇒生活支援体制整備事業協議体数 : 7地区11団体



▲「うえのはら交流会」における協議体同士の情報交換の様子



▲上野原ひまわりクラブ会員研修の様子

まもる

①相談窓口につながることもできる

- ⇒基幹相談支援センター相談数 : 403件
- ⇒こころの健康相談事業相談数 : 134件
- ⇒自立支援相談利用者数 : 31名
- ⇒就労準備支援利用者数 : 1名
- ⇒家計改善支援利用者数 : 9名
- ⇒学習支援教室開催回数 : 30回
- ⇒ハッピーバースデー訪問数 : 52件
- ⇒結婚相談所マッチング数 : 9件

②生活・権利をまもる

- ⇒委託相談事業相談数 : 64件
- ⇒日常生活自立支援事業支援回数 : 1,079回
- ⇒法人後見受任数 : 2件

③福祉の活動基盤をまもる

- ⇒市社協一般会員数 : 6,888世帯
- ⇒善意銀行寄付金額 : 約155万円
- ⇒共同募金目標額達成率 : 約96%

④みんなで暮らしをまもる

- ⇒夏の友愛訪問(梅干し配布) : 707世帯
- ⇒歳末の友愛訪問(米券配布) : 996件
- ⇒災害ボランティアセンター訓練回数 : 1回

⑤福祉サービスで暮らしをまもる

- ⇒移送サービス事業送迎回数 : 2,671回
- ⇒通所型サービスC事業等送迎回数 : 202回
- ⇒障害児者サービス利用計画数 : 71件
- ⇒障害児者の支援区分認定調査数 : 24件



▲赤い羽根共同募金街頭募金活動の様子



▲ハッピーバースデー訪問でお渡しする手作りキューピー人形(新二区の大房さん手作り)



▲災害ボランティアセンター訓練の様子

令和6年度 上野原市社会福祉協議会 決算報告

令和6年度決算貸借対照表→

貸借対照表では、令和7年3月31日時点の本会の財務状況を把握することができます。

①本会が持っている「資産」

②返済する義務がある「負債」

③総資産－負債＝「純資産」

全体的に財務状況のバランスはとれておりますが、当期活動増減差額のマイナスが大幅に増えたのは懸念点です。

勘定科目	当年度末	増減	勘定科目	当年度末	増減
<資産の部>①			<負債の部>②		
流動資産	48,104,002	-1,853,273	流動負債	6,408,063	-477,741
固定資産	35,792,664	1,814,736	固定負債	12,696,530	2,889,500
基本財産	2,000,000		負債の部合計	19,104,593	2,411,759
その他の固定資産	33,792,664	1,814,736	<純資産の部>③		
			基本金	2,000,000	0
			基金	20,000,000	0
			国庫補助金等特別積立金	731,253	-408,336
			次期繰越活動増減差額	42,060,820	-2,041,960
			(うち当期活動増減差額)	-2,041,960	-1,839,690
			純資産の部合計	64,792,073	-2,450,296
資産の部合計	83,896,666	-38,537	負債及び純資産の部合計	83,896,666	-38,537

令和6年度決算事業活動計算書→

この資料では1年間でどれだけの利益や損失があったのかを確認します。令和5年度との収益や費用の増減の差を見比べながらチェックしていきます。

(1)収益は増加しましたが、(2)費用はそれ以上に増加しており、サービス活動増減差額(3)はマイナス210万円ほどとなっております。収益の増加原因としては、生活困窮者就労準備支援事業及び家計改善支援事業等の新規事業の受託及び、計画相談事業の利用者数の増加や法人後見事業の受任等によるものです。また、費用の増加原因は、新規事業の受託及び給与改定による人件費の増額、物価高騰等によるものです。

今後の経営安定化に向けて、収益を増やすには受託事業を増やすか、障害福祉サービスなどの事業収益を伸ばす必要があります。また、費用を減らすために適切な人員配置による時間外労働の削減、事務機器等の購入方法や事業実施方法の見直しなどを進めていきます。



◀市社協窓口を整理し、各種情報が見やすくなりました。また、ふれあいショップの品物も随時追加しております。ぜひお立ち寄りください。

勘定科目	当年度末	増減
<サービス活動増減の部>		
会費収益	6,563,400	-6,900
寄附金収益	1,550,861	486,269
経常経費補助金収益	28,216,325	-2,357,762
受託金収益	34,798,346	5,336,024
事業収益	2,706,415	465,078
障害福祉サービス等事業収益	1,360,630	351,920
サービス活動収益計(1)	75,195,977	4,274,629
人件費	55,930,261	4,561,083
事業費	10,798,775	1,491,736
事務費	2,997,137	-64,304
共同募金配分金事業費	4,265,029	-6,313
助成金費用	2,585,360	-6,360
減価償却費	1,132,704	-347,328
国庫補助金等特別積立金取崩額	-408,336	179,281
その他の費用	0	-409,960
サービス活動費用計(2)	77,300,930	5,397,835
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-2,104,953	-1,123,206
<サービス活動外増減の部>		
サービス活動外増減差額(4)	62,993	-108,667
経常増減差額(5)=(3)+(4)	-2,041,960	-1,231,873
<特別増減の部>		
特別増減差額(6)	0	-607,817
当期活動増減差額(7)=(5)+(6)	-2,041,960	-1,839,690
<繰越活動増減差額の部>		
前期繰越活動増減差額(8)	44,102,780	-202,270
当期末繰越活動増減差額(9)=(7)+(8)	42,060,820	-2,041,960
(次期繰越活動増減差額)		

令和7年度社協会費のお礼

本年度も、上野原市社会福祉協議会の活動にご賛同いただき誠にありがとうございました。

社協会員とは“上野原市の地域福祉の推進に賛同し、人的・財源的に支えてくださる方”のことです。会員の皆様から寄せられた会費は、高齢者や障がい者をはじめ、全ての人が長年住み慣れた地域でその人らしく心豊かに健康で安心して生活できる社会福祉の実現のための重要な財源として活用させていただきます。

社会福祉法人上野原市社会福祉協議会 会長 中村 照夫

■会費の使いみち■

皆様から集められた会費の40%は各地区社会福祉協議会に還元され、様々な事業を通して地域の皆様に還元されます。それ以外については、社協の法人運営事業や地域福祉推進事業などに役立てられています。

各年度の現況報告書、定款、計算書類はこちらより確認できます。社会福祉法に基づき必要な書類を公開しております。事業報告書等は市社協窓口・HP上から確認できます。



社会福祉法人の現況報告書等の情報検索(WAM NET)

上野原社協について 検索

☆社協事務局通信☆

○令和7年5月31日 派遣解除 小澤勇人(事務局長)

○令和7年6月1日 派遣 関戸広延(事務局長)

○2025年5月号7ページの寄付者名の記載に不足がございました。正しくは「一五会 代表 上條忠好」様となります。お詫びして訂正いたします。

上野原ひまわりクラブだより

新会長就任ごあいさつ

今期会長改選期となり、四月の理事会・総会で選任されました。八十七歳という年齢と古い表現では「余所者」という言葉になりますが、当地育ちではない事により上野原の習俗が身につけていないので、失礼の儀が多分にあるのではないかと懸念して、任期が全うできるか如何か不安でありました。推薦の打診があつた折辞退申し上げたのですが、結果的に推薦されてお引き受けいたしました。

私は京都府下丹後で育ちました。「丹後ちりめん」という言葉で知られたところですが。上野原に移住後、この地も織物業が盛んであつた事を教えられました。現在では廃業をやむなくされている織物業の地であつた事から、郷里の事情と重ね合わせて非常に近親感を強くしました。

現在、全国的にシニアクラブの会員減少と各地区のクラブ減少の傾向にあります。此処、上野原においても、人口減少により各単位クラブの構成が難しく、新規会員の加入が思うように捗らない状態があります。然し、上野原ひまわりクラブは、地域の特性を生かして、色々な活動を行っております。健康維持が我々高齢者として世間の負担を可能な限り軽減する為に必要であると思ひ、その為に役立つであろうと考えられる活動も行っています。高齢者は地域の活性化や伝統を守っていく役割もあります。

就任後間もなくして、参加単位クラブの下部クラブが、長年の地道な活動が認められ、「緑綬褒章」を下賜されたという大変お目出度い事もありました。夫々のクラブは特性を生かした活動を行っています。

上野原ひまわりクラブ
会員の方々は、それらの活動に参加され、身心ともに健康な状態で過ごされますようお願いしております。



上野原ひまわりクラブ 会長 川口盛雄

令和7年度 第12回グラウンド・ゴルフ大会

6月25日(水)、グラウンド・ゴルフを通じて親睦と交流を深めようと、県大会予選を兼ねた大会を桂川野球場で開催しました。市内各地から集まった参加者は98名。梅雨入りし、天候が不安定の中、活気あふれ笑顔が絶えないプレーを繰り広げ、お互い親睦を深めました。

結果は以下のとおり。

■団体結果

- 優勝 : 島田桂生会A
- 準優勝 : 島田桂生会B
- 三位 : コモアグラウンド・ゴルフクラブA

◆個人結果

- 一位 : 宮田憲次氏 (島田桂生会A)
- 二位 : 志村恵治氏 (島田桂生会A)
- 三位 : 和智 茂氏 (甲東きずな会A)



▲第12回グラウンド・ゴルフ大会の様子

上野原ひまわりクラブでは随時会員を募集しております。興味のある方は、上野原ひまわりクラブ事務局担当まで

上野原市子育てサロン交流・活動体験フェスタ開催のお知らせ

上野原市で活動する子育てサロン同士の交流と子育てサロン活動を体験するイベントを開催します。

開催日などの詳細は以下のとおりです。市内で活動している子育てサロンが集結します！お楽しみに！

- ◆開催日時: 令和7年9月23日(火祝)午前9時30分～12時30分まで
- ◆開催場所: 上野原市総合福祉センターふじみ2階フロア



▲詳しくは社協HPをご覧ください。

ふれあい・いきいきサロンについてのお問い合わせは、サロン担当まで

山梨県共同募金会 上野原市支会だより



☆赤い羽根共同募金運動のお知らせ☆

今年も赤い羽根共同募金運動が10月1日(水)より全国一斉に行われます。

毎年多くの皆様にご協力をいただいて集められました募金は、山梨県共同募金会に送られ、その後市の地域福祉活動の推進や、社会福祉施設への助成などに役立てられています。今年も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



▲市社会福祉大会開催事業



▲ふれあい広場整備助成

☆共同募金のつかいみち☆



- ・社会福祉大会開催事業
- ・サロン、ボランティア団体への助成
- ・ふれあい広場・施設整備助成
- ・福祉のこころ助成事業
- ・社協だよりの発行 など

募金額、募金の使途
などの詳細はこちら



赤い羽根共同募金運動についてのお問い合わせは、赤い羽根共同募金担当まで

たすけあいボラポ 第2回新規登録研修会参加者募集中!

たすけあいボランティア・ポイント制度(愛称、ボラポ)とは、介護予防を目的に、ボランティア活動を通し、社会参加や地域貢献をすることでいつまでも元気に過ごしていただくという制度です。今年度、第2回新規登録者研修会を開催します。上野原のたすけあい活動に参加しませんか? ボランティア未経験の方も大歓迎です。ご興味のある方はぜひご参加ください。

- 日 時 9月3日(水)午後1時30分～3時00分
 - 場 所 総合福祉センターふじみ 3階 会議室 E,F
 - 対 象 市内に住所を有する65歳以上の方(要支援・要介護認定を受けていない方)
 - 募集定員 20名程度
 - 申込期間 8月29日(金)まで
- ※詳しくはお問い合わせください。



▲第1回新規登録研修会の様子

たすけあいボランティアについてのお問い合わせは、ボランティア担当まで

生活支援体制整備事業(支え合い地域づくり活動)

「支える人と支えられる人をつなぐ『協議体』の活動」

高齢化などにより社会構造が大きく変化し、昔ながらの助け合いの仕組みの維持が難しくなっています。そこで、地域ごとの「協議体」という体制づくりを進めています。住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくために、地域でできることを話し合い、支える人と支えられる人をつないでいくのが「協議体」の活動です。「地域の人を支える活動に参加したい」「どうやって協議体を作ればいいのか?」興味を持った人は活動に参加してみませんか? あなたの力が必要です。

みんなの知恵と力を合わせて
自分らしく暮らしていけるまちに。



生活支援コーディネーターがサポートします。

※「協議体」は住民主体の団体です。

地域と手をつなぐ。

生活支援体制整備事業(支え合い地域づくり活動)に興味のある方は、生活支援体制整備事業担当まで

生活困窮者自立支援事業所【いっぽ】からのお知らせ

『生活にお困りの方のための支援制度があります』

自立に向けた相談支援

生活の困りごとや不安を支援員がお聞きします。どのような支援が必要か一緒に考え、寄り添いながら自立に向けた支援を行います。

就労に向けた支援

「働くことに不安がある」、「他の人とコミュニケーションがうまくとれない」など、すぐに一般就労が難しい方に、就労体験の機会などを提供します。

家計の立て直しのための支援

家計の「見える化」を支援員と一緒にいき、立て直しのアドバイスを行うことで早期の生活再生を支援します。

子どもの学習・生活の支援

学習支援を始め、基本的な生活習慣を身につけるための支援、進路選択に関するアドバイス、居場所の提供など、子どもと保護者の双方に必要な支援を行います。

住まいの維持・確保のための支援

離職などにより住まいを失った方、または失うおそれが高い方に、就職活動を条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。また、家計の改善のために転居が必要な場合には転居費用の支援も行います。住居をもたない方、またはネットカフェで寝泊まりしている方などに、一定期間、宿泊場所や衣食を提供します。

※事業によっては資産や収入に関する要件を満たしている方が対象になります。

※これらの事業のほか、関係機関などと連携し、適切な支援機関につなぐこともあります。

ひとりで悩まず、
まずは相談してみませんか

お問い合わせ・ご相談は、上野原市社会福祉協議会自立相談支援事業担当まで ☎(63-3444)
専用メール ippo@uesya.com

障害者基幹相談支援センターだより

障害福祉事業所の販売会が行われました

5月22日(木)、道の駅つるにて『えがおの花咲く福祉の杜マルシェ2025』が開催されました。このマルシェは、東部圏域(上野原市・大月市・都留市・道志村・丹波山村・小菅村)の行政と民間福祉事業所が合同で取り組んでいる東部圏域自立支援協議会(地域の障害福祉の推進を協議する場)が主催しており、地域の方々に障害福祉サービス事業所を知っていただくことを目的として開催されました。当市からは上野原福祉作業所が出店し、刺し子や手作り石鹸などの自主製品を販売しました。会場には障害当事者・ご家族・関係者・一般のお客さんなど、様々な方が来場され、にぎやかな雰囲気の中、販売だけでなく、各事業所の説明を行うなど情報交換の場にもなりました。



▲会場の様子



▲上野原福祉作業所の販売と説明をしている様子



上野原市障害者基幹相談支援センターは、このようなイベント情報だけでなく、福祉サービスの相談、生活上の相談、権利擁護の相談など障害福祉に関する様々な相談に対応する総合相談窓口となっております。気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ・ご相談は、障害者基幹相談支援センター担当まで ☎(070-4062-1934)

善意の寄付をありがとう 市社協善意銀行事業(令和7年4月1日～6月30日敬称略)

○金銭

匿名	500,000円
匿名	10,000円
匿名	3,889円
安藤 佑子	30,000円
オフィスはな	70,000円
上野原市文化協会 芸能部	50,000円
サークルわいわい	50,000円
海福 義一	10,000円
匿名	10,000円
石井 由利子	20,000円
ビクターレコード 松吉 幸子	50,000円
山梨県東部建設組合	19,229円
ふれあいショップ4月分	17,402円
ふれあいショップ5月分	21,272円
ふれあいショップ6月分	12,537円

○物品

戸田 盛子	衣類、キッチン用品他
佐々木エミ子	手芸品(折り紙)
佐藤 公子	食器
高橋 宏	紙おむつ
長田 博	食器
いちゃりばサロン	コップ
成勇建設(株)	パンケース
武原 清海	肌着他
清水 昭広	子ども用遊具

匿名 移動ポケット、靴下、タオル、子ども用オムツ、日用品、衣類、枕、せっけん、文房具、シューズ、プラモデル、食器、プール回数券、歯ブラシ、ピアス他、サンダル、犬用リード、ポーチ、寝具カバー、水筒、バッグ

○フードバンク指定寄付

戸田 盛子、白鳥 晴男、岩田 庄司、龍泉寺村上 琛全、匿名多数

令和6年度 善意銀行事業報告

令和6年度善意銀行事業へたくさんの寄付がありました。皆様の温かいご協力にお礼申し上げます。

(令和6年4月1日～令和7年3月寄付報告について)

○いただいた寄付

寄付金収入(54件)	1,550,861円
寄付物品(タオル、食器類、手芸品等)	50件



2025年・夏のフードドライブへのご協力ありがとうございました

6月2日(月)～6月27日(金)の約1か月間、夏のフードドライブ強化月間として総合福祉センターふじみと市役所にて集荷場所を設け、ご家庭に余っている食品の寄付を募りました。各団体や個人から沢山の寄付が集まりました。

いただいた食品はフードバンク山梨へお届けして、夏休み期間に子どものいるご家庭に利用していただいております。また、一部は、市内の困窮世帯への支援にも活用しております。

みなさまのご協力、本当にありがとうございました。

寄付食品は7月4日(金)に南アルプス市のフードバンク山梨の事務所に届けました。食品の寄付は随時受け付けております。

○古切手

クレイン農業協同組合、尾形桂子、岡部祐和、諸角弘、上野原赤十字奉仕団、細田春美、(有)協栄商事、オリムピックカントリークラブ、セローズSCスポーツ少年団、(税)ブレイン、上野原市役所、上野原市役所税務課、上野原市役所大目出張所、三浦元広、村松税理士事務所、上野原市消防本部、匿名多数

○ペットボトルキャップ

上野原市役所、長田勇一、富山千栄子、フェリーチェ上野原、大久保敬子、こども広場「ごんぎつね」、尾形桂子、上野原福祉作業所、小澤早希、原田英子、酒井平八、石塚ミサ子、小俣英申、こどもの部屋運営委員会、守重和輝、成田屋、井上照代、露木令子、尾形夕起子、上野原タクシー(株)、杉本岸子、いちやまマート上野原店、上野原市母子寡婦福祉連合会、奈良晴美、オリムピックカントリークラブ、鷹取加代子、杉本治美、コモアふれあい広場、新一すこやかサロン、東部地域広域水道企業団、村松税理士事務所、河内美津江、談合坂デイサービスひまわり、佐藤正明、鳥居妙子、金子節子、(税)ブレイン、後藤ふみ恵、中原会、横瀬和子、臼井商店、網野翠、なないちサロン細田之男、椿ふれあいいきいきサロン、秋山温泉、西井クリニック、サンメンバーズカントリークラブ、(有)相模鉄工所、沢渡いきいきサロン、上野原消防署、上野原市役所甲東出張所、匿名多数

<ご寄付の振込について>

社会福祉法人上野原市社会福祉協議会
会長 中村 照夫
JAクレイン上野原支店 普通預金0013024

○いただいた寄付金(寄付金の使いみち)

寄付金支出(7件) 1,482,526円

【内訳】

夏の友愛訪問実施事業	439,040円
福祉作品カレンダー作成費用	423,885円
地域の拠点整備事業	289,415円
社協だより発行費用	155,736円
指定寄付金支出(福祉施設2か所)	100,000円
ボランティア活動支援事業費	48,800円
ボランティア活動保険助成金	25,650円



▲フードバンク山梨の米山理事長と当会の中村会長(お届けの様子)

▼集まった食品の一部



